

「テレビ会議を使った大学との交流学習」アンケートの結果

第2回目 平成19年7月9日(月)

○参加児童

6年1組児童32人、6年3組児童32人

○アンケートの集計

1 テレビ会議を使った学習は楽しかったですか。

とても おもしろかった	おもしろかった	あまりおもしろく なかった	おもしろく なかった
23人(36%)	36人(56%)	4人(6%)	1人(2%)

<「とてもおもしろかった」「おもしろかった」の主な理由>

- ・大学の事をたくさん知る事ができたから。
- ・とくに理由はないけどおもしろかった。
- ・そこまで行かなくてもいいし、大学の話が聞けたから。
- ・自分が質問できたから。
- ・大学の人の話が聞けて楽しかった。
- ・中国の人と話げできた。
- ・みなさんいい人で、どんな質問にもうまく答えてくれた。
- ・人が目の前にいるようだった。
- ・テレビ会議をする機会なんてなかったのて、とてもおもしろかった。
- ・テレビで話し合ったから。
- ・テレビ会議は初めてだったから。
- ・ふしぎだあとと思うことがたくさんあったから。
- ・テレビを使って会議をしたので、間近で話していると思えたから。
- ・みんなで楽しくできたから。
- ・新しい発想で、遠くにいる人とも顔を合わせられてすごいと思った。
- ・みんながいる場所とはなれている場所で話したりするのがおもしろかった。
- ・ふだん関わりのない人たちとテレビを使い話せたから。

<「あまりおもしろくなかった」「おもしろくなかった」の主な理由>

- ・決まった人しか質問できなかつた。自分も聞きたい事があつた。
- ・座って聞いて、リコーダーを吹いただけだったから。
- ・座って聞くだけだったから。
- ・リコーダーがうまくひけなかつた。

2 テレビ会議で話をしたり、聞いたりするのは難しかったですか。

簡単だった	少し 難しかった	難しかった	とても 難しかった
15人(23%)	31人(48%)	16人(25%)	2人(3%)

<「簡単だった」の主な理由>

- ・ちゃんと聞こえるし、簡単だと思う。
- ・気軽に質問できる場所。
- ・わかりやすくしてくれたので、聞くのは簡単だった。
- ・座って聞くだけだったから。
- ・思っていたよりも声がきちんと聞こえた。
- ・ただしゃべるだけで相手に伝わっているようだ。
- ・少しテレビの画像があれたけど、聞き取りやすかった。
- ・マイクでしゃべるだけでできるから。

<「少し難しかった」「難しかった」「とても難しかった」の主な理由>

- ・少し動作がブレたり、声が少し聞こえないところがあって、少し難しかった。
- ・ゆっくりおおきくしゃべるところ。伝わりにくい部分があるなあと考えた。
- ・音が遅れたり、途切れたりするところ。
- ・画面がぶれるところ
- ・聞きづらかったところがあった。
- ・中国の方の話が少し難しかった。
- ・話の内容がよくわからないところがあった。
- ・早い言い回しのところ
- ・こっちで聞こえている事が、あっちには聞こえにくそうだった。
- ・司会をやって感じた事は、話をすると伝わりはするけど、返事が返ってくるのに少し時間がかかったように思う。
- ・時間差がある？
- ・相手が全く話したことの無い人だったので。
- ・声が小さいところ。

3 他の勉強でもテレビ会議を使ってみたいですか。

とても 使ってみたい	使ってみたい	あまり 使いたくない	使いたくない
16人(25%)	33人(52%)	12人(18%)	3人(5%)

<「とても使ってみたい」「使ってみたい」の主な意見>

- ・ 他の学校との交流（行事や環境の話など）
- ・ 外国の人とふれあいたい
- ・ 体育や野球（やっているところを見る）
- ・ 海外の小学校や普段会えない人とテレビを通じて話したい。
- ・ 総合や道徳での話し合い（環境）
- ・ いろいろな国の人と話す。
- ・ 社会です。相手の町の歴史などを教えてもらおう。
- ・ 社会の授業で歴史に詳しい人に、いろいろインタビューなどをしてみたい。
- ・ 理科で岩切小学校ではできない実験をテレビ会議で行いたい。
- ・ 専門のガイドさんの説明を聞きたい。
- ・ 遠くの人にインタビューする時。
- ・ 将来自分やりたい事を調べる学習。
- ・ 遠くにある工場など、行けないところの見学。
- ・ 大学の人たちに勉強を教えてもらおう。
- ・ 発表を聞いてもらおう。
- ・ 違う県の人に、その県のことを聞く。（文化や特産品など）
- ・ 大学の人にもっといろいろな質問をしたい。
- ・ 朝会など、みんなが集まって話すときに使ってみたい。
- ・ 英会話
- ・ 家庭科で料理の使い方を教えてもらおう。

<「あまり使いたくない」「使いたくない」の主な意見>

- ・ 声が聞き取りにくく、話がしづらいから。
- ・ アイデアがない
- ・ 使い方が難しそう。
- ・ 内容がよくわからなそう。
- ・ 時間がかかるから。
- ・ 人と話したりするのがあんまり好きじゃない。
- ・ なんでもそういう風になると、ノートにとることみたいなことがなくなる。
- ・ めんどくさい。
- ・ 緊張するから。

4 その他の感想・意見

- ・ 携帯じゃなくても話し合える。

○授業後の反省・意見

<岩切小の先生から>

- ・ 音声が大幅改善され聞き取りやすかった。映像は荒い部分が少しあるが、十分実用に堪えうる。
- ・ 事前に安定していたところで接続したので、音声はとてもよかった。
- ・ 30分ぐらいの時間になってしまい、役目のある子はいいが、ない子は少し飽きてきた子がいた。
- ・ カメラを動かし、うるさい部分も感じられたが、変化があっておもしろかった。

<大学側から>

★1について

- ・ 前回と比べてあまりよくなっていない。
- ・ 伝統的な学習と違って、新鮮で、楽しく交流できます。
- ・ 固定の場所や対象に限らなく、小学生たちと一緒に学習するのは楽しいです。
- ・ 小学生と話す機会があまりないので、よい体験ができた。
- ・ カメラで人と顔を合わせて会話できることで、実際に会って会話する感覚で話せてよい。一方的に話を聞くだけの学習より、緊張感もあって充実していたと思う。
- ・ 緊張感がよい。大学と小学校は教育実習でもないと接点がないので、PCとWEBカメラだけで交流できるのが魅力的。
- ・ 普段なかなか交流する機会のない小学生と話せてよかったです。
- ・ 自分がテレビ電話なども余り使ったことがなかったため、すごく興味深かったです。離れているのに、多人数同士での交流が実現することが新鮮でした。
- ・ 声だけではなく、動作や表情が伝えられるのがよい。もっと画像がよくなれば、表情がはっきり伝わり楽しいかも。
- ・ VTRとは違ってお互いの反応が分かるので面白いと思います。思っていたより、伝わりやすかった。

★2について

- ・ スクリーン側にカメラが必要。カメラはビデオカメラにすべし。
- ・ ちょっと雑音があって、聞き取りが難しかったです。
- ・ 簡単だが、ネットワークの接続と関係があるので、相手が聞こえない時もあるし、画像と音声が遅くなる時もあるし、ちょっと影響があると思います。
- ・ 話す側の人もそうですが、特に聞く側の方は発言されたことに対して、もっと反応がないと、話す方に「ちゃんと伝わっているのか」という不安がでてくる。
- ・ 前回よりはよかったが、やはり聞き取りにくい部分があった。
- ・ 雰囲気共有するのが難しい。相手に伝えることが直接会うより難しい。訂正（止めること）が困難。

- ・相手の反応が分かりづらく、独り言の様で話しにくかった。
- ・音声のずれや、声がこもってしまうのがやはり聞き取りづらかったです。タイムラグや、話す時の滑舌や文の区切り方などの事前指導が大切だと思いました。
- ・自分の声が正しく相手に届いているか不安なので、区切り区切りでついついしゃべってしまった所。
- ・声が小さかったり、早口で話すと聞き取りにくい感じがあった。でもそれさえお互いが気をつければ、すごく使えると思う。

★3について

- ・イベントではなく、普通の授業で使うためにはどうするかを検討してほしい。
- ・国際理解教育で、外国の学生さんと交流学习ができるといいと思います。
- ・物理の実験や普通の人が入れない場所などで、テレビ会議を使ってみたいです。
- ・老人ホームとつないで、子どもが老人をいやす側になるといいかも・・・。
- ・異文化交流が面白いと感じた（やってみたい）。人間対人間ではなく、人間対自然のように、山にレポーターを放ち実況中継。
- ・合唱や特別活動の発表会。他地域の文化や風土、歴史等に関する学習とか。おばあさんに話を聞いたり。
- ・例えば入院している子にクラスの様子を伝えるなど、離れている子と交流ができるとよいと思いました。特別な授業に限らず、日常的な感じで使ってほしいと思います。
- ・1PC対1PCだけではなく、複数のPC同士のビデオチャットを利用して、討論してみるのもおもしろいのではないかと思う。
- ・場所を制限しない特徴を生かして、地域社会や町の雰囲気などを紹介しあえば面白そう。あと、いろいろな職業の人とつないで話を聞くと、子どもたちの視野が広がるかも。

○ 今後の課題

今回のテレビ会議では、音声が大分改善され、スカイプが小学校でのテレビ会議の実用に堪えるものと確認できた。

ただそのためには、

- ・事前に接続し安定した状態にしておくこと
- ・外付けのマイク、スピーカーを使用すること

が必要である。

今後の課題としては、前回の課題に加え、

- ・テレビ会議の時間

→今回は30分と若干長めになったが、会議の目的、児童の役割の有無と緊張感を考慮した時間設定にする。

- ・ 参加する人数

→もともと少人数を意識したテレビ会議システムなので、話し合いをしたい場合は、1クラス程度が基準に行う。

- ・ 話し合いの進め方

→分からない時、聞き取りにくい時は、「聞き取れませんでした、もう一度お願いします」、など遠慮なく聞き返すこと

話が伝わっているかの確認のために、司会の対応や相手の話への相づち等のリアクションを考えること

- ・ カメラのズーム

→カメラの移動は視覚的にも楽しめる。そのためのは、ズーム付きのビデオカメラを利用するが、スカイプの今のバージョンでは未対応なので、今後のバージョンアップに期待。